

# TOPICS

## 令和4年度 香川大学アセスメントテスト (リスクマネジメント検定/インフォーマティクス検定) 成績優秀者表彰式を挙行了しました 11/1

香川大学が教育の柱に掲げるDRI教育の学修成果の可視化を目的としたアセスメントテスト(リスクマネジメント検定とインフォーマティクス検定の2種類)が全学部を対象として8月に実施され、1,123名が受検しました。この度、各検定において特に優れた成績を修めた学生をマスターとすることとし、リスクマネジメント検定マスター34名、インフォーマティクス検定マスター22名の認定を行いました。両検定でマスター認定を受けた5名の代表者に学長から認定証が授与されました。他の各検定のマスター認定者はオンラインで参加しました。

学長から、今回の結果への賛辞とともに、DRI能力の重要性と今後の弛まぬ努力への激励の言葉が贈られました。



認定証の授与

## 「香川大学ダイバーシティ&インクルージョンフェスタ 2022」企画 D&Iセミナー Part1&2 を開催しました 10/19&11/2

香川大学ダイバーシティ推進室が「香川大学ダイバーシティ&インクルージョンフェスタ2022」の一環として「D&Iセミナー Part1・Part2」を開催しました。Part1前半の講演では、あしたプロジェクト代表の谷昂順氏、副代表の福井瑞穂氏から、「性をめぐる多様なあり方(SOGI)を知る」をテーマに、性の多様性について詳しくお話しいただきました。

後半のパネルディスカッションでは、藤本智子理事・副学長(ダイバーシティ推進担当、弁護士)がコーディネーターとなり、坂井聡バリアフリー支援室長、山本菜帆さん(農学研究科修士1年)、諏訪稜央さん(教育学部4年)が登場し、「誰もが学びやすいキャンパスをめざして」をテーマに活発な議論が行われました。

part2では、中塚幹也氏(岡山大学学術

研究院保健学域 教授、岡山大学病院ジェンダークリニック 医師、GID(性同一性障害)学会 理事長)から、「性の多様性」に関する基本事項、性別違和の悩みをもつ人のための岡山大学病院ジェンダークリニックでの取り組み、「性の多様性」と制服・服装、公共トイレについて、これまでの具体的な活動や報道事例などを交えながら、詳しくお話しいただきました。



Part1 前半 SOGIについての講演



Part1 後半 パネルディスカッション



Part2 性の多様性についての講演

## Trilateral Symposium on SDGs - 2022 Online Research Seminar - を開催しました 9/14~11/15

2023年8月29日-31日に開催が予定されている第二回Trilateral Symposium on SDGsのプレイベントとしてオンラインセミナーが開催され、香川大学、チェンマイ大学、国立嘉義大学の3大学からオンラインで約90名の参加がありました。当日は3大学の若手研究者から研究発表があり、活発な質疑応答が行われました。

今回のオンラインセミナーをきっかけに、3大学間の継続的な共同研究の発展や、交流の活性化が期待されます。学生交流を目的としたセッションでは、各大学における環境清掃活動をそれぞれ実施し、令和5年2月22日にオンライン交流活動を実施する予定です。



オンラインで記念撮影



香川大学

# KADAIGEST 11 2022



① これからのどーけん(児童文化研究会)を担う2年生! ② みんなでイベントに来てくれた子どもたちをお見送り ③ こどもまつり大成功! ④ こどもまつりでは名ブースごとに衣装にもこだわります

## 香川大学 児童文化研究会

私たちは香川大学公認の学童ボランティアサークルで、地域の子どもたちを楽しんでもらえるようなイベントを開催したり、小学校や学童保育などからの依頼を受けて活動したりしています。

今年の大学祭では3年ぶりとなる「こどもまつり」を開催することができました。コロナで開催を断念してきた先輩方の思いも背負い、全員が一丸となって準備を進め、当日は250人を超える子どもたちがイベントに参加してくれました。入学当初からコロナ禍という制限がある中で活動してきた私たちにとって、このイベントを開催できたことは非常に感概深く、今後の人生の糧になる経験ができたと思っています。

私たちが創り上げた小さなアトラクションパークで楽しむ子どもたちや、そんな子どもたちの姿につい微笑む保護者や大学生など、多くの人の笑顔が生まれた素敵な1日になりました。

私たちは、現在73名の会員で構成されるとも大きなサークルです。子どものことも楽しいことも大好きな、とても温かい心を持った人たちが溢れるサークルです。私は、学年や性別に関わらず、分け隔てない関係で楽しめるみんなのことが心から好きだなと思います。これからも児童文化研究会は活動の幅を広げていきます。興味できたことは非常に感概深く、今後の人生の糧になる経験ができたと思っています。

活動場所 ・香川大学幸町キャンパス  
活動日 ・毎週火、木曜日  
18:30~20:30  
部員数 ・73名  
Twitter ・@douken\_kgw  
Instagram ・douken\_official2022  
連絡はSNSのDMまで



教育学部3年 湊 早希  
宮崎県立宮崎北高等学校出身



# 瀬戸内地域活性化プロジェクト(瀬戸P)

## Kagawa Expo 2022 in MARUTASU を開催



トークイベントで学生が自治体関係者に向けて普段の地域活動の説明をしている様子。



瀬戸内地域活性化プロジェクト(瀬戸P)は、学部を問わず受講できる全学共通科目の授業で、丸亀、観音寺、東かがわ、まんのう、さぬき、善通寺の計6つの地域で、80人以上の学生が地域活性化を目的に活動しています。今まではそれぞれの地域で別々に活動していましたが、「日本一小さい都道府県である香川県の魅力を一か所で発信したい」というところからKagawa Expo 2022を企画しました。

Kagawa Expo 2022は、丸亀市の市民交流活動センター「マルタス」で11月19日、20日の2日間開催されました。1日目は、香川県の代名詞であるうどんの魅力や、讃岐広島の実木石などの各地域の名産品にスポットを当てたワークショップを行いました。2日目は、活動をしている中で学生が見つけた香川県の魅力あふれる商品の委託販売、商品や食品の調理販売を行いました。

この活動は初めての取り組みのため、コンテンツ作りに多くの時間を費やしました。「大学生

の視点」から香川県の魅力を考えることを大切にしながら、何度も企画メンバーやマルタス職員の方、自治体の方とミーティングを重ね、イベントの内容を決定していきました。多くのメンバーの意見をまとめることは簡単ではありませんでしたが、他の地域で活動している多くの人と交流しながらより良いものを創り上げていく作業は、とても刺激的でやりがいのあるものでした。

多くの方に来ていただくために何度も丸亀市やその周辺の地域に足を運び、チラシ配りをしました。この努力が当日の集客につながるのか不安になったこともありましたが、チラシ配りに際して地域の方々から頂いた温かい応援のおかげで頑張ることが出来ました。イベント当日は、丸亀市内外から老若男女問わず多くの方が来てくださり、1日目のワークショップでは、小さなお子様連れの方に多数ご参加いただきました。私たちが紹介した地域の魅力に興味を持っていただくことができ、現地にも足を運ぶと言ってくださる方もいました。2日目

のマルシェでは、魅力あふれる商品の説明を丁寧に行い、売り切れた商品が輸出しました。学生とお客様の距離を近く感じ、来場された方から、新しい香川の魅力が知れて良かったという声を頂きました。また、学生自身もこのイベントを通して香川県の魅力をより知ることができました。

今回のイベントをこの1回だけでなく、開催地を変えていながら継続的に行っていきたいと思っています。そして、瀬戸Pの活動として、1人でも多くの方に香川県の魅力を届けられるようにしていきたいです。

教育学部3年 小松 奈那子  
広島県立広島井口高等学校 出身



写真右が小松さん



マルシェで東かがわのジビエ肉を使用したスープを調理し、販売している様子。



香川県産の食材を学生が来場者の方に説明し、販売している様子。



マルシェで販売した商品と、魅力が伝わるよう工夫したポップ



ごみ拾いイベントの様子。



子どもたちにボランティアで勉強を教えている様子。



観音寺市雲辺寺山頂公園にある「天空のフォトフレーム」をモチーフにしたフォトフレームを作成するワークショップの様子。



勤労感謝の日に向けたワークショップの様子。東かがわ市の特産品手袋を用いたワサギに装飾し、日ごろの感謝の気持ちを込めてメッセージカードを作成しているところ。

